

第3章 10年後の中野の姿とめざす方向

基本構想では、中野のまちの将来の都市像を「多彩なまちの魅力と支えあう区民の力」として、次のとおり描いています。

中野区は、これまで築いてきた歴史と個性を受け継ぎながら、まちに住む人の生活の質を高めていきます。同時に、多くの人々がこのまちを訪れ、幅広い活動を展開する、だれにとっても快適な、魅力あふれるまちをめざします。

そこでは、人々がいきいきと暮らし、ともに協力し、支えあいながら生活を営んでいます。その中から、地域に根ざした支えあいの精神が育ち、独自の・先進的な文化や芸術がはぐくまれ、社会を豊かにし、次代を切り拓く^{ひら}ような財やサービスが次々と生まれて、まちの魅力が、さまざまな形で内外に向けて発信されている・・・、そんなまちの実現をめざしていきます。

その上で、次の4つの領域と、領域ごとの柱を設けて、具体的な将来の姿を示しています。

《基本構想の4つの領域とその柱》

| | ページ |
|--------------------------------|-------|
| 第 領域 持続可能な活力あるまちづくり | 3 2 |
| - 1 産業と人々の活力がみなぎるまち | 3 2 |
| - 2 環境に配慮する区民生活が根づくまち | 4 9 |
| - 3 安全で快適な都市基盤を着実に築くまち | 5 5 |
| 第 領域 自立してともに成長する人づくり | 6 5 |
| - 1 子育て支援活動など、地域活動が広がるまち | 6 5 |
| - 2 子どもから大人まで、地域の中で自分の力をのばせるまち | 7 7 |
| 第 領域 支えあい安心して暮らせるまち | 9 1 |
| - 1 人々が自分の健康や暮らしを守るために努力しているまち | 9 1 |
| - 2 地域活動を中心に、ともに支えあうまち | 1 0 2 |
| - 3 安心した暮らしが保障されるまち | 1 0 7 |

| | | |
|-------------|---|------------|
| 第 領域 | 区民が発想し、区民が選択する新しい自治 | 119 |
| - 1 | 自治のしくみが効果的に機能し、 さまざまな担い手によって多様なサービスが展開するまち | 119 |
| - 2 | 「小さな区役所」で、質の高い行政を実現するまち | 128 |

以下では、領域とその柱ごとに「10年後のまちの姿」と「現状と課題」を示し、将来像の実現のための戦略となる「施策の方向」を明らかにします。その上で、達成状況のめやすとなる「成果指標と目標値」と、目標を実現するための「おもな取り組み」、取り組みの手順を示す「実現へのステップ」について記します。